

## 浸出水処理施設運転管理業務委託 仕様書

### 共通仕様書

#### 1 目的

本仕様書は、東金市外三市町清掃組合（以下「発注者」という。）が、成東一般廃棄物最終処分場及びグリーンオアシス大網（以下「処分場」という。）の施設運転管理並びに埋立業務を委託することに際し必要な事項を定めるものとする。

なお、本仕様書は本業務の基本的な内容について定めるものであり、本仕様書に記載のない事項が生じた場合にも、業務の目的達成のために必要と思われるものについては、受注者の責任において契約書及び関係法令等を遵守の上、誠実に業務を遂行するものとする。

#### 2 業務名

浸出水処理施設運転管理業務委託（長期継続契約）

#### 3 業務履行場所

- (1) 成東一般廃棄物最終処分場
- (2) グリーンオアシス大網

#### 4 履行期間

令和8年7月1日から令和11年6月30日まで

#### 5 業務の範囲

業務の範囲は、特記仕様書に掲げる施設の運転操作、監視、記録、日常的な保守点検、保全整備、埋立管理及びその他処分場の維持管理に付随する一切の業務とする。

#### 6 業務の履行

受注者は、業務の公共的使命、社会的重要性を十分に認識し、処分場の維持管理を円滑に行うとともに、処分場としての機能を十分に発揮できるよう契約書、仕様書、その他関係書類に基づき、安全かつ効率的な業務を履行すること。

#### 7 準備期間

契約締結日の翌日より履行開始日までの期間は、履行開始後適切に業務を履行するための準備期間とし、それに係る費用は受注者の負担とする。

## 8 再委託の禁止

- (1) 次の各号に掲げる業務について、第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

ア 設備の運転操作、点検整備、修繕、測定記録等の業務

イ 休日及び夜間の緊急対応

なお、上記に掲げる業務以外の業務の一部を第三者に請け負わせるときは、あらかじめ業者名、金額、業務内容、計画等を記載した書面を発注者に提出し、承諾を得なければならない。また、受注者は、発注者が承諾のうえ業務の一部を第三者に委託、又は請け負わせた場合、受注者の責任において指導監督を行うこと。

## 9 業務の引継ぎ

- (1) 受注者は、運転管理業務の一部、または全部を受託しなくなった場合、発注者の指示に従い、受注者に代わって当該業務を行うこととなる者に、引継ぎを行うこと。

- (2) 引継ぎは、文書、及び実施運転教育によるものとする。その内容は次のとおりとし、必ず履行すること。

ア 新規受注者は、契約締結後の準備期間中に、前受注者の業務履行に支障のない範囲で技術指導を受け、履行開始日から業務を履行する体制を整えなければならない。なお、これに要する費用は新規受注者の負担とする。

イ 新規受注者は、発注者から業務履行開始後においても前受注者から技術指導を受けるよう指示された場合は、新規受注者から前受注者へ技術指導を依頼し技術指導を受けなければならない。なお、これに要する費用は新規受注者の負担とする。

ウ 前受注者は、業務完了後、各施設運転に関する運転手順書、並びに保守点検手順書を新規受注者に引き渡すこととする。なお、本委託業務履行に伴い、発見、開発された技術等も同様とする。

エ 前受注者は、委託業務完了の日以降についても、発注者からの要請があった場合は新規受注者に対し技術指導を行わなければならない。なお、これに要する費用は新規受注者の負担とする。

オ 前受注者は、新規受注者から履行開始前の準備期間中に技術指導の申し出を受けた場合は、委託業務の履行に支障を来たさない範囲で技術指導を行わなければならない。なお、これに要する費用は新規受注者の負担とする。

カ その他、発注者が業務の履行上必要と認めたものは確実に引き継がなければならない。

## 10 現場責任者等の実務経験と資格要件及び人員配置

受注者は業務の実施に先立ち現場責任者・現場副責任者（施設への常駐は必ずしも必要としない）及び業務従事者を選任し、以下に示すものを書面により発注者に届け出なければならない。

- (1) 経歴、資格を記載した現場責任者・副責任者選任届（実務経験及び資格取得を証明するものの写し添付）：様式任意

（実務経験とは、国または地方公共団体が発注した最終処分場浸出水処理施設や下水道処理施設の運転管理業務等に従事した経験があることをいう。）

- (2) 業務従事者の資格を記載した名簿（資格取得を証明するものの写し添付）：様式任意

- (3) 現場責任者

現場責任者は最終処分場技術管理士を有する者とし、業務総括の職務にあたり十分な管理能力を有する者とする。また、職務内容は、次のとおりとする。

ア 契約書、仕様書その他関係書類により業務の内容および目的を熟知し、従事者を指揮監督して業務を適正かつ円滑に履行すること。

イ 処分場への常駐は必ずとも必要としないが、現場の最高責任者として、従事者の指揮監督を行うこと。

ウ 従事者の教育を行い、技術の向上および事故の防止に努めること。

エ 業務執行状況を常時的確に把握し、緊急時には直ちに連絡および対処できる体制にしておくこと。

オ 日常の業務執行状況を、発注者に報告するとともに、必要に応じて協議を行うこと。

- (4) 現場副責任者

現場副責任者は水処理施設における運転管理の実務経験を3年以上有する者であり、各業務の責任者としての的確な判断能力を有する者とする。

- (5) 人員配置

受注者は、水処理施設における運転管理の実務経験を有した技術者を配置するものとし、以下の資格を有する者を必要に応じて派遣しなければならない。

（有資格者は1名ですべての資格を有する者でなくとも可とする。）

ア 第1種電気工事士

イ 特定化学物質等作業主任者

ウ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

エ 車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込み用及び掘削用）

- (6) 人員の変更

ア 発注者は、受注者の人員配置に関して適正な業務の遂行が難しいと判断した場合は、受注者に人員配置の変更を求めることができるものとする。

イ 受注者は、上記の変更要求があった場合には直ちに適正な業務を遂行するための人員を再配置しなければならない。

## 11 報告事項

- (1) 受注者は業務実施後、次の報告書を指定する期日までに提出しなければならない。

- ア 日報（勤務日毎）
- イ 月報（翌月初旬）
- ウ 完了報告書（翌月初旬）
- エ 点検記録表（翌月初旬）
- オ 1・3・6ヶ月点検表（1・3・6ヶ月の翌月初旬）
- カ 年報（毎年4月）
- キ 異常発生時の報告書（その都度）
- ク その他発注者の指示する報告書

## 12 施設等の使用及び貸与について

### (1) 盗難の防止

処分場における設備機器、工具等の盗難及び不審者等の侵入防止について、十分な注意を払うこと。

### (2) 管理室等の使用

管理室等の使用については、無償とする。ただし、清掃等の使用上の管理、破損や汚損などによる弁償は、受注者の負担とする。

なお、管理室等使用に伴う光熱水費については発注者の負担とし、節水節電について十分な配慮をすること。また、管理室等使用に先立ち発注者に使用願いを提出し、使用目的等の変更があれば事前に申し出るものとする。

### (3) 完成図書、工具等の貸与

業務遂行上必要と認めた場合、完成図書及びその他備品類については貸与するが、従業員の安全衛生器具については、原則として受注者が備えるものとする。

### (4) 服装

従業員は、清潔で作業に安全であり統一した服装を着用させる。

### (5) 清掃整理

受注者は、委託業務の範囲で明記された施設及びその周辺を常に清掃し、不用な物品等については整理しなければならない。

## 13 費用負担の分担

### (1) 発注者の負担する費用

- ア 埋立に使用する覆土材
- イ 電気、上水（成東一般廃棄物最終処分場は井戸水）
- ウ 燃料油脂類、消耗部品、補修用工具、点検用測定機器類、建設系車両
- エ 部品交換及び機器更新等に係る修繕工事費
- オ 薬品類、水質分析費用、電気保安業務費

### (2) 受注者の負担とする費用

- ア 業務従事者に支給する作業服、作業靴、ヘルメット、防塵マスク、ゴム手袋、

各種安全用具及び生活用具等の物件費等

イ 衛生用品、事務用電子機器（PC・プリンター等）、事務用品（諸用紙・文具等消耗品）、安全対策用具等

ウ 電話使用料

(3) 上記以外のものについては発注者、受注者双方協議の上決定する。

#### 14 緊急事態対応

(1) 受注者は、緊急事故及び台風、地震等の災害時、並びに電話回線による非常通報等緊急事態が発生した時は、勤務時間外であっても速やかに人員を派遣できる体制を確立しておかなければならない。

(2) 受注者は、上記の緊急事態が発生した場合は、発注者の指示により現場に赴き状況を報告するとともに、復旧作業を行うものとする。

#### 15 関係法令の遵守

受注者は、業務の実施にあたり廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公害関係法令、ダイオキシン類対策特別措置法、電気事業法、労働基準法、労働安全衛生法、消防法その他関係法令を順守しなければならない。

#### 16 安全管理

(1) 受注者は、業務の履行にあたり労働安全法その他関係法令を遵守し、常に細心の注意を払い適切な安全対策を実施することにより、公衆及び業務従事者の安全を確保しなければならない。万一事故等が発生した場合には、応急処置をとるとともに、速やかに発注者に報告しなければならない。

(2) 定期的に安全講習等を実施し、業務従事者の安全意識の高揚をはかり、事故防止に努めなければならない。

#### 17 処分場の損傷及び損害賠償

(1) 受注者は、処分場の一部または全部が損傷した場合は、その原因と施設に与える影響について速やかに発注者に報告しなければならない。

(2) 受注者は、受注者の責めに帰すべき理由により施設及び車両等に損傷を与えた場合、原状復旧する責任を負わなければならない。

(3) 受注者は、処分場の損傷が施設の機能に重大な影響を及ぼすと予想される場合、責任の所在にかかわらず緊急措置を講じなければならない。

(4) 受注者は、業務遂行上故意または過失により発注者に損害を与えた場合は、損害賠償の責を負うものとする。

18 守秘義務等

受注者は、本業務の遂行上知り得た事項について、第三者に漏らしてはならない。契約解除及び本業務完了（契約期間満了）後においても同様とする。また、苦情対応及び緊急対応等で知り得た個人情報の取扱いについても十分注意すること。

19 疑義事項

本仕様書に定めのない事項に疑義を生じた場合は、発注者と受注者が協議のうえ定めるものとする。

## 特記仕様書

### 1 施設の概要

#### (1) 成東一般廃棄物最終処分場（管理型）

ア 埋立面積	5, 000 m <sup>2</sup>
イ 埋立容量	20, 059 m <sup>3</sup> （最終覆土含む）
ウ 供用開始	昭和59年4月
エ 埋立物	焼却灰
オ 計画放流水質	PH5.6～8.6、BOD 20 ppm、SS 40 ppm
カ 水処理能力	24 m <sup>3</sup> /日平均（最大55 m <sup>3</sup> /日）河川放流（作田川） 運転は基本的に有人で行う。
キ 主な処理方法	曝気＋凝集沈殿＋砂ろ過＋PH調整＋滅菌
ク 埋立状況	埋立は平成7年3月31日をもって完了しているが、閉鎖には至っておらず浸出水の処理を継続している。
ケ 原水及び処理水の主な水質実績（令和8年1月～3月）	

	原水	処理水
P H	10.3	7.2
B O D (m g / ℓ)	21.0	1.03
C O D (m g / ℓ)	67.0	11.7
S S (m g / ℓ)	定量下限値未満（1.0 未満）	3.67
大腸菌数 (CFU/mℓ)	定量下限値未満（1.0 未満）	定量下限値未満（1.0 未満）

#### (2) グリーンオアシス大網（管理型）

ア 埋立面積	22, 700 m <sup>2</sup>
イ 埋立容量	96, 900 m <sup>3</sup> （最終覆土含む）
ウ 調整槽容量	2, 400 m <sup>3</sup> エ 供用開始 平成14年4月
エ 埋立物	不燃物（ビン、ガラス、瀬戸物等）、熔融スラグ（熔融炉は現在休止中）
オ 計画放流水質	PH5.6～8.6、BOD 10 m g / ℓ、COD 10 m g / ℓ SS 10 m g / ℓ、大腸菌群 800 CFU/mℓ
カ 水処理能力	45 m <sup>3</sup> /日 24時間連続自動運転 河川放流（尻無川）
キ 主な処理方法	原水中和＋回転円盤＋混和＋凝集沈殿＋中和＋砂ろ過＋活性炭吸着＋水銀用キレート吸着＋重金属用キレート吸着＋水質連続監視＋消毒
ク 埋立状況	埋立容量96, 900 m <sup>3</sup> のうち供用開始後約累計23, 517 m <sup>3</sup> (R8年3月末) を埋立し、現在も年間約1, 200 t ～ 1, 300 t の間の搬入物の埋立作業を継続中

ケ 原水及び処理水の主な水質実績（令和8年1月～3月）

	原水	処理水
P H	8. 3	7. 9 6
B O D (m g /ℓ)	定量下限値未満 (0.5 未満)	定量下限値未満 (0.5 未満)
C O D (m g /ℓ)	2. 3	1. 3 7
S S (m g /ℓ)	定量下限値未満 (1.0 未満)	1. 3 7
大腸菌数 (CFU/mℓ)	定量下限値未満 (1.0 未満)	定量下限値未満 (1.0 未満)

2 提出書類

受注者は、次の書類について各時期に速やかに提出すること。

(1) 本業務着手時

- ア 着手届
- イ 組織表（現場管理及び安全管理）
- ウ 現場責任者選任届
- エ 現場副責任者選任届
- オ 業務従事者名簿
- カ 事務室等使用願い

(2) 本業務履行中

- ア 維持管理計画書（年度当初）
- イ 完了届（毎月）
- ウ その他発注者が必要とする書類

(3) 報告等

- ア 作業計画
  - （ア） 月間作業予定表の作成
  - （イ） 月間管理実績（月報）の作成
- イ 業務報告等（教育・訓練実施状況報告を含める）
- ウ 受注者は、業務実績を明らかにするため、日報等により定時に報告すること。
- エ 各点検記録表の内容
  - （ア） 浸出水処理施設の日・月報の主な記載内容は以下のとおり
    - 浸出水処理施設総合所見
    - 気温、降水量、放流量、取水量、簡易水質分析結果、電気量
    - 浸出水処理施設作業実績
    - 脱水汚泥搬出量
    - 薬品使用量
  - （イ） 埋立管理日報の記載内容は以下のとおり
    - 埋立施設総合所見
    - 埋立実績記録表・埋立写真記録



(ウ) 点検記録表の記載内容は以下のとおり（毎月）

敷地内の水処理設備以外の設備点検と水質状況（擁壁、遮水シート、調整池、囲い、立札等）

(エ) 1ヶ月点検表の記載内容は以下のとおり（毎月）

各水槽ポンプ類、各貯槽タンク内ポンプ類、井戸ポンプ等の絶縁抵抗値  
定及び動作状況、各貯槽タンクの攪拌機状況、脱水機状況、吊り上げ装  
置の状況、各弁類の状況等

a 3ヶ月点検表の記載内容は以下のとおり

各ブローワー、脱水機、UV 計等の点検状況

b 6ヶ月点検表の記載内容は以下のとおり

各槽フロート L・M・H の点検状況

オ 点検整備、修理造作、支給品使用状況、故障事故等の各報告、諸薬剤の納入願  
い等を遅滞なく提出すること。

カ その他 発注者が必要とするもの

### 3 有資格者による作業

運転、点検整備及び清掃に関する業務は、労働安全衛生法等の関係諸法令に基づ  
き業務従事者の安全と健康を確保するよう努めること。特に次の作業については、  
十分安全に留意すること。

- (1) 酸素欠乏及び有害ガス発生場所における作業
- (2) 薬剤等の受入及び取扱作業
- (3) 高所作業及び地下作業
- (4) 電気作業
- (5) 高温及び高圧作業
- (6) 粉塵等の発生場所における作業

### 4 業務従事者の交替

- (1) 受注者は、現場責任者、若しくは現場副責任者が交替する時は、原則として30  
日前までに有資格者証の写しを添えて発注者に提出すること。
- (2) 受注者の業務従事者が交替する時は、十分な実務引継ぎ期間をもって交替すること。

### 5 水処理設備以外の管理業務

- (1) 場内及び処分場搬入道路環境の管理及び整備
  - ア 屋外全般の軽微な草刈
  - イ 搬入道路環境等の把握
  - ウ 境界フェンス周りの点検及び清掃

エ 場内及び搬入路等の除雪作業（必要に応じて）

- (2) 土木建築設備の点検、維持管理及び軽易な補修
- (3) 上水道施設の監視、点検、調整、清掃及び整備
- (4) 発注者が貸出している備品等の維持管理
- (5) 見学者への案内補助及び見学ルート of 安全確保
- (6) 緊急時等の周辺住民への対応
- (7) 埋立、運搬等で使用する車両の安全で適正な維持管理  
（管理上必要な措置を講ずるため、施設の運転を停止するとき及び再開するときは、発注者に報告すること。）

## I. 成東一般廃棄物最終処分場運転管理業務詳細

成東一般廃棄物最終処分場施設運転管理業務は以下のとおりとする。

### 1 業務実施日及び時間

#### (1) 業務実施日

原則毎週4日間（月曜日、火曜日、木曜日、金曜日）

#### (2) 業務実施時間

午前8時30分から午後5時15分まで

### 2 施設運転管理に関すること

#### (1) 日常業務

ア 巡回点検により埋立地の状況、観測井、通気管、周辺フェンス及び表示板等に異常の無いことを確認する。

イ 浸出水処理施設を運転し、浸出水を放流基準値以内に浄化し放流する。

ウ 放流水路を確認し、枯枝等の堆積物がないことを確認する。

エ 各水槽、各機器及び配管等を点検し、異常のないことを確認する。

オ 処理施設各所の水質を分析する。（PH、電気伝導度、透視度、水温、残留塩素濃度）

#### (2) 定期的点検

ア 各機器グリス補給 (適宜)

イ 測定機器（PH計）の清掃、校正等 (毎月)

ウ 各機器の絶縁抵抗測定 (毎月)

エ 停止中の機器の作動試験 (毎月)

オ 薬品の補充及び在庫管理 (適宜)

カ ポンプの引き上げ点検 (適宜)

キ フロート類の作動試験 (適宜)

ク 施設や機器の清掃 (適宜)

ケ 点検に必要な個所の除草 (適宜)

#### (3) 修繕等

受注者は、以下に示す修繕や部品の交換等を行うものとする。ただし、受注者において対応出来ないものについては速やかに組合に連絡し支持を仰ぐこと。また、修繕に必要な部品は組合が支給するものとする。

ア 絶縁不良発生時の原因調査（低圧に限る）、及び機器作動不良時の原因調査、並びにこれらに類する電気関係機器の異常発生時の調査の実施と対応。

イ リレー・タイマー・フロートスイッチ・水位検出電極・PH電極・バッテリー、及びこれらに類する電気計装部品の交換の実施

ウ 機器異音発生、振動等発生、設備作動不良時の原因調査の実施、並びに設備や

配管等の詰まりや漏れ・埋立地シート破損・フェンス破損、及びこれらに類する  
設備異常に対する措置の実施

エ 水中ポンプ・ホース類、及びこれらに類する機器の交換の実施

オ 各水槽類の清掃

(4) その他

発注者の指示する業務

3 異常発見時の処置

受注者が業務遂行中に異常を発見した場合は、速やかに発注者に報告するとともに復旧作業を行うものとする。

Ⅱ. グリーンオアシス大網運転管理業務詳細

グリーンオアシス大網にて行う施設運転管理業務は以下のとおりとする。

1 施設運転管理業務実施日及び時間

(1) 業務実施日

原則毎週 1 日（水曜日）

(2) 業務実施時間

午前 8 時 3 0 分から午後 5 時 1 5 分まで

2 施設運転管理に関すること。

(1) 日常業務

ア 巡回点検により埋立地の状況、観測井、通気管、周辺フェンス、雨水調整池及び表示板等に異常の無いことを確認する。

イ 浸出水処理施設の運転状況を確認する。

ウ 放流水路を確認し草等の堆積物がないことを確認する。

エ 各水槽、各機器および配管等を点検し異常のないことを確認する。

オ 処理施設各所の水質を分析する。（PH、電気伝導度、透視度、水温、残留塩素濃度等）

(2) 定期的点検

ア 各機器グリス、オイル補給 (適宜)

イ 測定機器の清掃、校正等の整備 (毎月)

ウ 各機器の絶縁抵抗測定 (毎月)

エ 停止中の危機の作動試験 (毎月)

オ 薬品の補充および在庫管理 (適宜)

カ ポンプの引き上げ点検 (適宜)

キ フロート類の作動試験 (適宜)

- ク 施設の清掃 (適宜)
- ケ 居室及び廊下の床ワックス掛け (年 1 回)
- コ 点検に必要な個所の除草 (適宜)
- サ 放射能測定 (毎週)
- シ 第一種製品の簡易点検 (年 4 回)

(3) 修繕等

受注者は、以下に示す修繕や部品の交換等を行うものとする。ただし、受注者において対応出来ないものについては速やかに組合に連絡し支持を仰ぐこと。また、修繕に必要となる部品は組合が支給するものとする。

- ア 絶縁不良発生時の原因調査（低圧に限る）、及び機器作動不良時の原因調査、並びにこれらに類する電気関係機器の異常発生時の調査の実施と対応。
- イ リレー・タイマー・フロートスイッチ・水位検出電極・PH電極・バッテリー、及びこれらに類する電気計装部品の交換の実施
- ウ 機器異音、振動等発生、設備作動不良時の原因調査の実施、並びに設備や配管等の詰まりや漏れ・埋立地シート破損・フェンス破損、及びこれらに類する設備異常に対する応急措置の実施
- エ 水中ポンプ・ホース類、及びこれらに類する機器の交換の実施
- オ 各水槽類の清掃

(4) その他

発注者の指示する業務

### 3 異常発見時の処置

- (1) 受注者が業務遂行中に異常を発見した場合は、速やかに発注者に報告するとともに復旧作業を行うものとする。
- (2) グリーンオアシス大綱は電話回線による非常通報装置を設置していることから、受注者はこの通報を年中無休で24時間いつでも受信できる体制を確保すること。また、この通報を受信した場合は、直ちに監視員を現場に派遣し現場を確認のうえ、状況を発注者に報告するとともに復旧作業を行うものとする。

## Ⅲ. グリーンオアシス大綱埋立業務詳細

グリーンオアシス大綱にて行う搬入物の埋立業務は以下のとおりとする。

### 1 埋立業務実施日および時間

- (1) 業務実施日  
原則毎週1日（水曜日）
- (2) 業務実施時間  
午前8時30分から午後5時15分まで

## 2 埋め立て業務に関すること。

### (1) 埋立物

ア 不燃残渣（ガラス、陶器等）

イ その他（土砂等）

### (2) 使用機器

発注者が所有するブルドーザを受注者に貸与する。

日本キャタピラー合同会社 製ブルドーザ 型式D 3 C

### (3) 搬入方法

ア 不燃残渣

発注者が別途契約する業者がダンプカーにて搬入する。

イ 土砂

（ア） 基本的には発注者が別途契約する業者がダンプカーにて搬入する。

（イ） グリーンオアシス大綱に仮置きしてある土砂を利用して埋立を行う場合は、受注者自ら仮置き土砂を埋立地へ搬送し埋立を行うものとする。ただし、積込み及び運搬に必要となる車両は発注者が手配し受注者に貸与するものとする。

ウ 搬入台数

1 日当たり、1 0 t ダンプで2 台から5 台程度

### (4) 埋め立て方法

ア 埋め立て高さ1 m（うち不燃残渣 0.80～0.85m、土砂 0.15～0.20m）

イ 不燃残渣を搬入後ブルドーザにて転圧し整形する。

ウ 転圧、整形した不燃残渣の上に土砂等を覆土し再度転圧する。

### (5) 点検整備

受注者は使用する車両の日常点検整備を行うものとする。

### (6) その他

発注者の指示する業務

## 3 異常発見時の処置

受注者が業務遂行中に異常を発見した場合は、速やかに発注者に報告するとともに復旧作業を行うものとする。